

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成30年度北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成30年11月5日（月） 午後1時30分～午後3時15分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階ホール
出席委員の 氏名又は人数	15名
欠席委員の 氏名又は人数	2名
出席職員の職・ 氏名又は人数	オブザーバー6名、事務局4名、各事業担当者
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	5名
議題又は 協議事項	1 北はりま定住自立圏共生ビジョンの変更について 2 成果指標に基づく進捗状況の確認について 3 年次計画について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 本会議に出席いただき感謝申し上げます。 西脇市と多可町は歴史的に強いつながりがある。両市町それぞれの強みを生かした取組を進めていきたい。本日は多くの職員が出席させていただいているので、各分野を代表する委員各位には忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>（委員等出席者の紹介） 名簿に基づき、自己紹介</p>
事務局	
西脇市長	
事務局	

事務局	<p>(会長・副会長の選出)</p> <p>北はりま定住自立圏共生ビジョン会議条例の規定に基づき、浅野委員を会長に、村上委員を副会長に選出</p> <p>(以後の進行を浅野会長に依頼)</p>
事務局	<p>(定住自立圏構想の概要について)</p> <p>会議資料に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>兵庫県内で他に定住自立圏の取組を進めている地域はあるのか。また、取組を進めることによる住民のメリットは何か。</p>
事務局	<p>兵庫県内では、但馬や淡路などの地域が定住自立圏の取組を進めている。取組を進めることによるメリットは、国から財政支援が受けられることであり、圏域を形成して各事業に取り組むことで国から特別交付税が措置される。また、国の補助金が優先的に採択される場合もある。</p>
副会長	<p>定住自立圏構想を進める上で、人口の要件はあるのか。</p>
事務局	<p>中心市の要件として、人口5万人程度以上、少なくとも4万人を超えていることが定められている。また、昼夜間人口比率が1以上であることも要件となっている。平成17年の国勢調査において西脇市はこれらの要件を満たしていたため、当初から参画することができた。</p>
事務局	<p>(協議事項1 第2次北はりま定住自立圏共生ビジョンの変更について)</p> <p>会議資料(別紙1)に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>アンテナショップの閉鎖理由について詳細を聞きたい。</p>
担当者	<p>神戸市の垂水商店街と連携し、平成17年10月から取り組んできたが、県の補助金の廃止や農産物等の出荷量の減少などが要因で赤字となっていた。また、店舗の老朽化が進み、更新費用がかかることからやむなく廃止を決定した。ただし、垂水商店街との連携は継続し、年に数回のイベント出展を行っている。</p>

事務局	(協議事項2 成果指標に基づく進捗状況の確認について) 会議資料(別紙2)に基づき、事務局から説明
委員	食肉処理加工施設の休止について、原因は何か。
担当者	加工する過程で在庫管理が難しい部位があり、人件費や光熱費が嵩んでいる。平成26年にシカ肉をドッグフードに加工する民間の施設ができており、今後はそちらへ搬入することとしている。
委員	婚活イベントは年間どのくらい開催されているのか。
担当者	西脇市では年2回の開催を予定している。
担当者	多可町においても年2回の開催を予定している。6月に開催予定であったが、参加者が少なく、やむなく中止した。
委員	移住・定住の促進について。市内、町内定住者数の内訳を知りたい。
担当者	平成29年度における西脇市への移住者は30名であった。
担当者	多可町においては、平成29年度で26名となっている。
会長	資料に記載されている数値と合わないのではないか。
事務局	資料に記載されている数値は、累計値である。
委員	観光入込客数が昨年度よりも減少している原因は何か。旬菜館の売上は伸びており、来客数も増えていると思うのだが。
担当者	平成29年度における西脇市の観光入込客数は123万人であり、前年度比で約4.7万人の減となっている。御指摘の旬菜館の来客数については、県の統計における基準の関係で、この数値に含まれていない。市内の日帰り温泉施設の来客数の減や、大規模なイベントの開催数の減などが原因であると考えている。

委員	両市町ともコミュニティバスの運営に力を入れて取り組んでおられることに感謝申し上げます。現在検討されているコミュニティバスの再編においても、引き続き連携していきたい。
会長	大阪方面へのバスの乗車率等の状況はどうか。
委員	かなり厳しい状況である。
委員	旬菜館の売上が伸びていることを嬉しく思っている。来客も多く、遠方からも買いに行く人がいると聞いている。多可町のような田舎であっても、アピールできることが必ずあるはずなので、みんなが危機感を持って取り組んでいけば、定住する人も増えるのではないかと思う。
事務局	西脇市の事例ではあるが、播州織関連事業所への就職支援や、イチゴ農家の就農支援などを行っている。今後も、地域にとって必要な人材を呼び込む方法について検討していきたい。
委員	圏域の農産物直売所では、年間で計3億円近くの売上があり、これは近隣市にも決して劣らない数値である。今後も引き続き支援をお願いしたい。
委員	幹線道路の整備について、JR鍛冶屋線跡地整備の進捗状況を聞きたい。
担当者	現在、工事を進めている。県施工区間についても着工しており、来年度の完成に向けて計画を進めている。
委員	住民にとって身近な文化とは、両市町のホールにおける活動であると思う。両市町とも一定の活動があり、不足はないように思う。特に西脇市では新たなホールが建てられる予定であり、期待している。 また、住民にとって関心のあることとして、自分たちの健康の維持が挙げられる。多可町においては、ウォーキングコースがかなり整備され、にぎわいが生まれている。もっと情報発信を強化すれば、外部からの人の流れが生まれ

	<p>るのではないだろうか。</p>
委員	<p>西脇多可新人高校駅伝競走大会は、今年度で第11回目を迎える。全国から約130チームが参加し、素晴らしい大会になると期待している。大会の運営においては、前回大会から西脇市に事務局を担っていただいているが、多可町にも積極的に大会の運営に関わっていただきたいと考えている。</p>
担当者	<p>多可町との連携を強化していきたいと考えている。今後大会を発展させていけるよう、多可町と協議し、検討を進めたい。</p>
委員	<p>介護認定審査会で審査された人数を知りたい。</p>
担当者	<p>平成29年度において、206回の審査会で4,358件の審査を行った。</p>
委員	<p>地域医療市民フォーラムの運営について、両市町の連携状況はどのようになっているのか。多可町からの参加者がもっと増えればよいのだが。</p>
担当者	<p>多可町にも開催案内を送っていただいているが、なかなか多可町からの参加は少ないのが現状であると思う。多可町では地域包括ケアフォーラムを開催しており、西脇市からの参加者も一定数あることから、相互の理解は得られていると考えている。</p>
副会長	<p>地域医療市民フォーラムの参加者数の減については、会場のキャパシティの違いのためである。平成28年度は市民会館で、平成29年度はみらいえでそれぞれ開催しており、会場規模に合わせて参加者数が減っている。</p> <p>また、西脇病院の救急受入件数が目標値を下回っている理由は何か。</p>
担当者	<p>今年度は9月末時点で3,500件弱となっており、前年度と概ね同水準となっている。救急患者を積極的に受け入れる方針であり、今後も可能な限り受け入れていきたいと考えている。</p>

副会長	<p>医師の数が減っており、なかなか受け入れられないという事情もあると思う。</p> <p>また、北はりま絆ネット同意書数については、これまでの累計値なのか。</p>
担当者	<p>資料に記載されている数値は、累計値である。</p>
副会長	<p>北はりま絆ネットを活用する医師は、若手の医師に限られているという現状がある。医療・介護連携のための「おりひめネット」と併せて、今後両システムを発展させていきたい。</p>
委員	<p>旧来住家住宅の周辺に、観光バス用の駐車場を整備する予定はあるのか。</p>
担当者	<p>現時点でその予定はないが、観光バスの受入れについては、近隣の店舗の協力を得ているほか、市役所の駐車場を活用するなどして対応している状況である。</p>
会長	<p>計画期間中にKPIや目標値を修正することはあるのか。</p>
事務局	<p>今のところ修正は予定していない。</p>
事務局	<p>(協議事項3 年次計画について) 会議資料(別紙3)に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>日々の暮らしの中で、人手不足や少子高齢化の時代に誰しも不安を抱えている。</p>
会長	<p>人手不足という話があったが、両市町の状況はどうか。</p>
事務局	<p>ハローワーク西脇管内の有効求人倍率は比較的高く、短期的に2倍を超えたことがある。ただし、職種によって偏りが目立ち、雇用のミスマッチが生じている。定住自立圏の取組だけでなく、行政としてできることは着実に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>移住・定住促進事業について、移住・定住希望者に対し</p>

	<p>て何か具体的な支援はあるのか。また、来年度から森林環境譲与税の譲与が開始されるが、林業に従事する者に対するの支援は検討されているのか。</p>
事務局	<p>西脇市では、空き家の改修に対する補助などを行っている。金銭的な支援だけでなく、移住者同士のネットワークづくりなどの支援についても検討していきたいと考えている。</p>
担当者	<p>森林環境譲与税の具体的な用途については検討中であるが、森林の整備などが主な用途になると考えている。森林組合とも相談させていただき、有効な用途について検討していきたいと考えている。</p>
委員	<p>森林環境譲与税の用途には、林業に携わる者の人材育成という項目がある。人材の育成についてぜひ検討していただきたい。</p>
委員	<p>「消防・防災危機管理体制の整備検討」について。特に昼間の消防団員が不足していると聞いている。消防団員の確保や消防設備の点検などの体制はどのようになっているのか。</p>
担当者	<p>消防団員の確保については、一般の団員とは別に、有事の際のみ活動する機能別団員を設けるなどして、少ない団員数をカバーするよう努めている。消防設備の点検については、年次計画を立てて実施している。</p>
会長	<p>団員数の推移についてはどのような状況か。</p>
担当者	<p>条例定数を少し下回っており、数人の減で推移している。</p>
委員	<p>「担い手育成対策事業」について。農業大学生の就農先がなかなか見つからないと聞いている。受入先の支援なども含めて、対策を検討していただきたい。</p>
担当者	<p>西脇市内には、農業法人がほとんどないのが現状である。今後、農業法人の参入も含めて対策を検討していく必要があると考えている。黒田庄和牛の畜産農家にインターンシ</p>

<p>事務局</p> <p>多可町長</p>	<p>ップを経て新規就農された例があり、そのような方法についても検討していきたい。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>たくさんの御意見をいただき感謝申し上げます。いただいた御意見を参考に、今後の取組を検討したい。</p> <p>次回会議は来年度の開催を予定している。</p> <p>(閉会あいさつ)</p> <p>貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。両市町が連携して取り組むべき事業については、今後も連携を密にして取り組み、無駄のない行政運営を目指したい。今後も御協力をお願いします。</p> <p>(閉会)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>